

参加無料  
事前申込  
不要

本学では、従来から社会のあり方として「高度コミュニケーション社会」という概念を提唱し、その実現に貢献する「総合コミュニケーション科学」の教育研究拠点を目指すことをビジョンとして打ち出しています。本シンポジウムでは、「総合コミュニケーション科学」が防災にどのように貢献できるのか、またこれからの日本社会のあり方と「総合コミュニケーション科学」の役割についての提言と議論を行います。

**2011年10月22日(土)  
13:00~17:00**

開催場所：電気通信大学 B棟 202

- 13:00 開会の辞
- 13:10 招待講演  
「災害時の情報通信技術の問題点と環境整備」  
柴田 義孝（岩手県立大学・教授）
- 14:00 「被災者支援の実践例  
－思いやりを行動につないだ携帯メーリングリスト－」  
佐々木 啓子（電気通信大学・教授）
- 14:20 休憩（10分）
- 14:30 基調講演  
「災害時のコミュニケーション－情報の共有と災害管理－」  
古郡 廷治（電気通信大学・名誉教授）
- 15:20 「UECソフトウェア・リポジトリと日本再生」  
西野 哲朗（電気通信大学・教授）
- 15:40 「激甚災害に備えて」  
長友 貴樹（調布市長）
- 16:10 「高度コミュニケーション社会への転換」  
梶谷 誠（電気通信大学長）
- 17:00 閉会の辞

司会：椿 美智子（電気通信大学・准教授）

# 防災・日本再生への 総合コミュニケーション科学からの アプローチ